



KLab株式会社 (3656)
ファイナンスに関する
補足説明資料

目的

新たなヒットタイトルを創出し、業績の回復及び中期経営計画の達成を目指すために
資金需要に対し柔軟に対応できる財務基盤の強化を図る

資金使途

新規大型モバイルオンラインゲーム及び
新規カジュアルゲームの企画・開発・運営費用

18.5 億円 ※

(支出予定時期：2025年1月～2027年1月)

新規大型 モバイルオンラインゲーム

業績の回復及び黒字化の達成はもとより、中期経営計画の目標として掲げる
2025年以降、売上高400億円、営業利益100億円の達成を目指すため、新規開発中の
大型タイトル3本をリリースし、確実にヒットに繋げていくことが非常に重要

新規カジュアルゲーム

従来型のモバイルオンラインゲームよりも、短期間かつ低コストでの開発が可能な
ハイブリッドカジュアルゲームに複数本取り組む
広告視聴が主なマネタイズ手法である従来のカジュアルゲームに、さらにアイテム課金の
仕組みや運営力を掛け合わせた収益モデルであり、ローリスクでありながら大きく
収益を伸ばす余地あり

現在進行している主要パイプラインは、内製の大型IPタイトル3件及びハイブリッドカジュアルゲーム3件
今後リリースする大型IPタイトルはいずれも、主戦場であるグローバル市場で十分に戦えるレベルを目指す

大型IPタイトル	
EA SPORTS FC™ TACTICAL	2024/5/23に香港等一部の国・エリアにて先行ローンチ 2024/12/5に大型アップデートを実施 テストローンチを通じてポテンシャルの高さが確認できており、現在は展開地域の拡大に向け、最終調整中
国内大手コンソール企業が所有するゲーム系IP	2025年以降 リリース予定 着実に開発進行しており、情報公開に向けて調整を進めていく
僕のヒーローアカデミア	2025年以降 リリース予定
ハイブリッドカジュアルゲーム	
オリジナルタイトル	3タイトルが進行中 うち1タイトルは、2025年1Q中にソフトローンチ予定

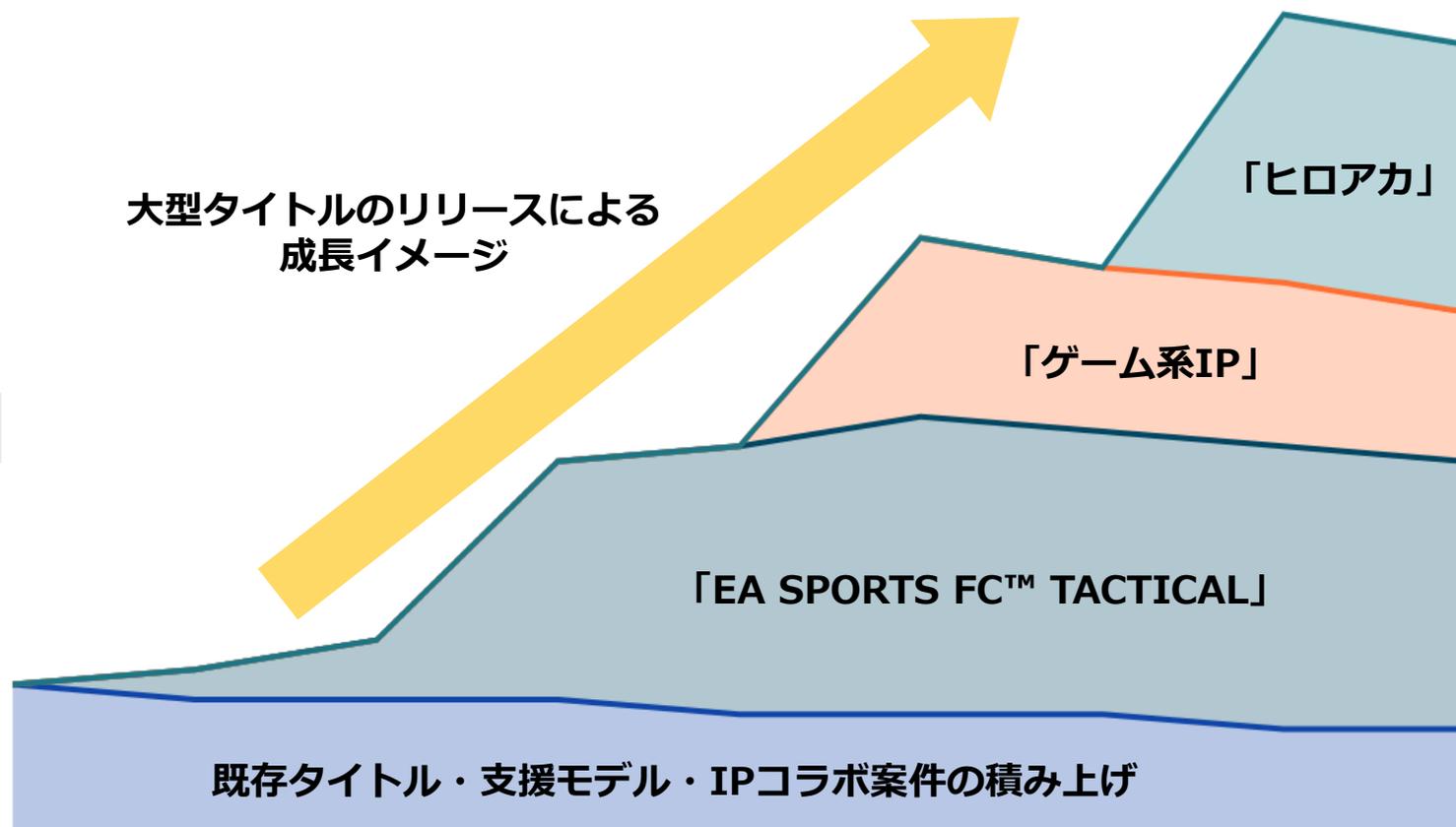
業績の回復と再成長フェーズへ転換を図るため、新作タイトルをヒットさせて積み上げていく
さらに、ハイブリッドカジュアルゲーム領域での新たな収益獲得も目指していく

注力領域

- ▶ 開発中の新規タイトルの確実なリリース
- ▶ ハイブリッドカジュアルゲームのリリースによる新たな収益の積み上げ

継続領域

- ▶ 既存タイトルの安定運用及び配信PF拡充による減衰抑制による収益の確保
- ▶ 支援モデルやIPコラボ案件の積み上げ



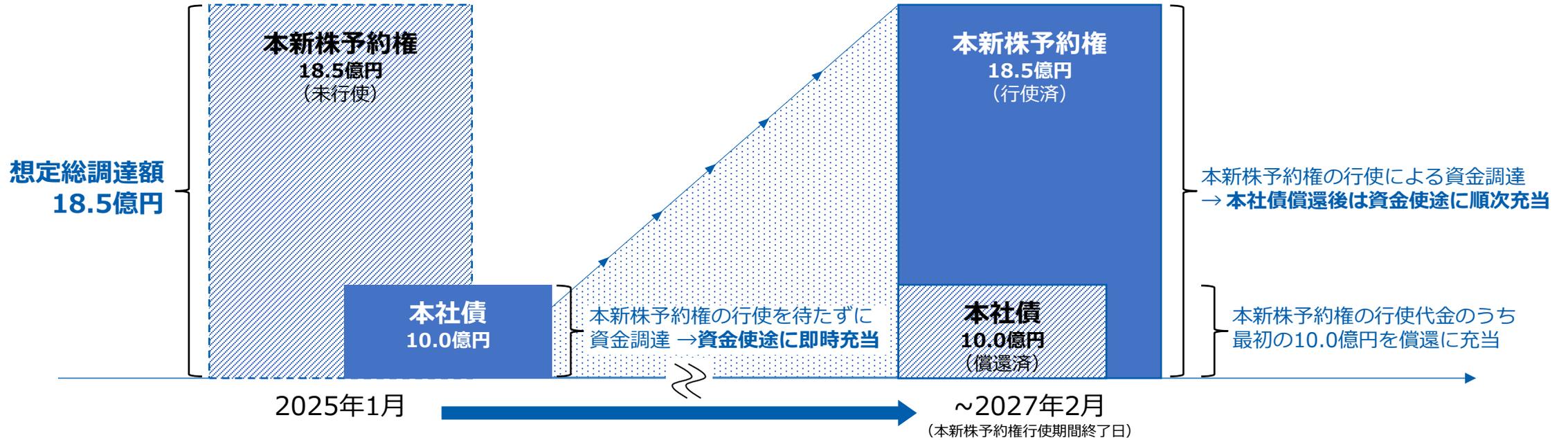
無担保社債（私募債）と新株予約権の同時発行

以下「本社債」

以下「本新株予約権」

仕組み

- ▶ 割当予定先に対し、本新株予約権及び本社債を発行
これにより当社は、**本新株予約権の行使を待たずに10億円の資金を調達**
- ▶ その後、**行使に伴う本新株予約権の当社への払込代金で本社債を償還**
償還完了後は順次資金用途に充当



本新株予約権の概要

名称	第20回新株予約権	
発行方法	マッコリー・バンク・リミテッドに対する第三者割当て	
発行概要	発行決議日	2025年1月8日
	割当日	2025年1月30日
	行使可能期間	2025年1月31日～2027年2月1日（2年間）
	調達予定金額	18.5億円 ^(※1) （当初行使価額による調達金額。行使価額修正条項により変動）
	発行新株予約権数	118,900個
	当該発行による潜在株式数	11,890,000株
	潜在希薄化率	発行済株式総数ベース：24.6% ^(※2) ／議決権ベース：24.9% ^(※3)
行使価額	当初行使価額	154円
	行使価額の修正	行使請求日毎に、前取引日の終値×92%に行使価額が自動的に修正
	上限行使価額	なし
	下限行使価額	84円（発行決議日前営業日終値×50%）
その他	取得条項	本社債の償還完了後は、当社取締役会決議により、通知・開示の上いつでも発行価額で取得が可能

※1 調達予定金額は、本新株予約権の発行価額の総額に、当初行使価額に基づき全ての本新株予約権が行使されたと仮定して算出した本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の総額を合算した額から、本新株予約権の発行に係る諸費用の概算額を差し引いた金額です

※2 2024年10月31日時点の発行済株式総数48,242,300株を基準に算出しております

※3 2024年10月31日時点の議決権個数については株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日（2024年6月30日）に基づく株主名簿による議決権個数（451,355個）に、新株予約権の行使による増加（24,500個）を加味した数を基準に算出しております

No.	質問	回答
1.	新株予約権とは	<ul style="list-style-type: none">• 新株予約権とは、発行会社に対してそれを行行使することにより、当該発行会社の株式の交付を受けることができる権利です• 新株予約権の割当予定先であるマッコーリー・バンク・リミテッドが当該権利を行行使することで、当社は行使価額相当の金銭の払込を受け、マッコーリー・バンク・リミテッドに新株式を交付します。これにより当社は資金調達及び資本増強を行います
2.	無担保社債（私募債）とは	<ul style="list-style-type: none">• 無担保社債（私募債）とは、社債買取契約に基づき発行会社が相対で発行する社債です• 新株予約権の割当予定先であるマッコーリー・バンク・リミテッドに対して発行することで、マッコーリー・バンク・リミテッドが本社債の債権者となります• 当社は、2025年1月30日以降、当社と割当予定先が別途合意する日に10.0億円を受領いたします
3.	本ファイナンススキームの特徴は	<ul style="list-style-type: none">• 本ファイナンスの特徴として、新株予約権と社債による資金・資本調達が一体となった手法であることが挙げられます。本新株予約権及び本社債を発行することで、本新株予約権の行使を待たずに当社が一定の資金を調達し、本新株予約権の行使による払込代金により、資本調達及び社債の償還を行う仕組みとなっております• 本社債の未償還額が残存する限り、本新株予約権の行使による払込代金は、本社債の償還に用いられる見込みです
4.	今回のファイナンススキームを選んだ理由は	<ul style="list-style-type: none">• 当社は、現状の株式市場の状況及び資金使途に鑑み、当初時点の資金調達と当社の裁量権の確保の両立を重視しており、無金利の本社債による一定の資金の確保と、当社裁量権のある本新株予約権を組み合わせた本ファイナンスが現在の当社に最も適した調達手法であると判断いたしました

No.	質問	回答
5.	本ファイナンススキームのメリットは	<ul style="list-style-type: none">• 本新株予約権による調達金額は資本となるため、財務健全性指標が上昇いたします• また、本ファイナンススキームは新株予約権と社債による資金・資本調達が一体となった手法であり、本社債の発行により一定の資金の確保が実現でき、かつ本社債は無金利で発行されます• 本新株予約権の行使価額は、行使請求の効力発生日の直前取引日の終値の92%に相当する金額に修正されるため、株価変動に応じて機動的な資金調達が可能となります。なお、本新株予約権には下限行使価額が設定されており、行使価額の下方修正には歯止めが掛かる仕組みとなっております• 本社債の償還完了後、将来的に本新株予約権による資金調達の必要性がなくなった場合、又は代替的な資金調達手法が確保できた場合等には、当社の選択により、いつでも残存する本新株予約権を発行価額と同額で取得することが可能であり、資本政策の柔軟性が確保されております• 本新株予約権の目的である当社普通株式数は11,890,000株で固定されており、株価動向にかかわらず、最大交付株式数が限定されているため、希薄化の規模は限定的です
6.	本ファイナンススキームのデメリットは	<ul style="list-style-type: none">• 株価が本新株予約権の下限行使価額を下回って推移した場合、割当予定先による本新株予約権の行使が期待できないため、事実上資金調達ができない仕組みとなっております• 株価が下限行使価額を上回って推移している場合でも、市場出来高の水準に応じて、全ての本新株予約権の行使が完了するまでは一定の期間が必要となります• 当社株式の流動性に鑑み、本社債は本新株予約権の行使により速やかに償還されることを想定しておりますが、本社債の未償還額が残存する限り、当社が本新株予約権を取得する場合には、当該未償還額の期限前償還が必要となります• 割当予定先は、本新株予約権の行使により取得する当社株式を長期間保有する意思を有しておらず、取得した当社株式については速やかに売却する予定であるため、割当予定先による当社株式の売却により、当社株価が下落する可能性があります

No.	質問	回答
7.	調達予定金額は	<ul style="list-style-type: none">手取概算額の合計は、本新株予約権の発行価額の総額に本新株予約権の行使に際して出資される財産の価額を合算した額から、発行諸費用を控除した約18.5億円を想定しております。但し、この金額は、当初行使価額で全ての新株予約権が行使されたと仮定した場合の金額です。行使の進捗状況や行使価額の修正等に応じて増減いたします
8.	本新株予約権の行使価額の修正及び行使状況を確認する方法は	<ul style="list-style-type: none">ある月に権利行使が行われた場合には、翌月月初めに当該月の月間行使状況を開示いたします。また、同月中の行使累計新株予約権数が11,890個（発行予定新株予約権数である118,900個の10%）以上となった場合にも行使状況を開示いたします割当予定先は、同社及び共同保有者の株券等保有割合が5%を超えた場合には大量保有報告書を提出し、以降株券等保有割合が1%以上増減する等の変動が生じるたびに変更報告書を提出します。これらの書類を確認することにより、その時点における同社が保有する新株予約権の数量、潜在株数を含めた保有株数を確認することができます
9.	希薄化の規模は	<ul style="list-style-type: none">2024年10月31日現在の発行済株式数48,242,300株（総議決権数475,855個）に対して占める割合は最大24.6%（当社議決権総数に対し最大24.9%）に相当し、これにより一定の希薄化が生じるものと認識しております。なお、2024年10月31日現在の議決権個数については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日（2024年6月30日）に基づく株主名簿による議決権個数（451,355個）に、新株予約権の行使による増加（24,500個）を加味した数を記載しております
10.	株主に対するメリットは	<ul style="list-style-type: none">プレスリリース及び本資料に記載の用途に充当することで今後の収益性の向上や企業価値の向上に寄与し、既存株主を含めた株主全体の利益につながるものと考えております
11.	株主に対するデメリットは	<ul style="list-style-type: none">2024年10月31日時点の発行済株式総数48,242,300株に対して最大24.6%、議決権数475,855個に対して最大24.9%の希薄化が生じる可能性があります

No.	質問	回答
12.	今期業績に与える影響は	<ul style="list-style-type: none">・ 現在、当社グループは、大型IPタイトル及びハイブリッドカジュアルゲームのパイプラインを複数抱えていることから、資金需要は継続して高い状況にあります。本資金調達を通じて財務戦略の柔軟性の更なる確保が可能となることから、これらのプロジェクトを中断なく進め、当社グループの中長期で持続的な事業成長へと繋げてまいります。よって、本資金調達は当社の中長期的な企業価値及び株主価値の向上に資するものと考えておりますが、これによる2025年12月期の業績に与える影響につきましては、現時点で合理的な数値を算出することは不可能であります・ なお、別途開示すべき事項が発生した場合には速やかにお知らせいたします
13.	貸株等が行われるか	<ul style="list-style-type: none">・ マッコリー・バンク・リミテッドは、第19回新株予約権の発行時に当社代表取締役社長の森田英克氏より当該普通株式について借株（貸借株数上限：120,000株）を行っており、本新株予約権の発行に伴って当該借株の貸借期間について本新株予約権の行使期間に応じた変更を行う予定です。また、本新株予約権の発行に伴い、マッコリー・バンク・リミテッドは、当社取締役会長の真田哲弥氏より当社普通株式について借株（貸借株数上限：490,300株）を行う予定です。割当予定先は、割当予定先が本新株予約権の行使により取得する当社普通株式の数量の範囲内で行う売付け以外を目的として、当社普通株式の借株は行いません

世界と自分をワクワクさせる Creating a World of Excitement

社名	KLab株式会社 / KLab Inc.
設立	2000年8月1日
資本金	62億2035万円（2024年12月末時点）
株式公開市場	東京証券取引所・プライム市場（3656）
代表者	代表取締役社長CEO 森田 英克 代表取締役副会長 五十嵐 洋介
所在地	本社（東京都港区、六本木ヒルズ森タワー）
主要関連会社	可来软件开发（上海）有限公司（KLab China Inc.） 株式会社グローバルギア
グループ従業員数	479名（2024年9月末時点）

ディスクレーム

本資料は、本ファイナンスに関する情報の提供を目的とした資料であり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料の内容は、発表日時点で入手可能な情報や判断に基づくものです。将来発生する事象等により内容に変更が生じた場合も、当社が更新や変更の義務を負うものではありません。また、本資料に含まれる将来の見通しに関する部分は、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合がありますことをご了承ください。

また、本ファイナンスに関する詳細につきましては、2025年1月8日付プレスリリース「第三者割当による行使価額修正条項付第20回新株予約権及び無担保社債（私募債）の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

お問い合わせ

【機関投資家の方】

<E-mail> ir@klab.com

【個人の方】

誠に恐れ入りますが、個人の方からのお電話及びメールによるお問い合わせへの対応は行っておりません。

お問い合わせの際は、下記URLのフォームからお願い申し上げます。

<お問い合わせフォーム> <https://www.klab.com/jp/ask/>